

# 営農情報 (水稲)

令和2年8月発行

福岡大城農業協同組合  
南筑後普及指導センター

6月下旬の田植え後、7月上旬から中旬まで雨が続いたため、生育初期は軟弱徒長ぎみで推移しましたが、途中数日間天気の良い日があったため、7月下旬には草丈は平年並み、茎数は平年並み～やや少なめ程度になっています。7月上旬に豪雨で浸水したところも、梅雨明けに伴い、今後生育が回復してくると考えられます。水稲の生育のことでお困りの方は、JA福岡大城各営農センター、または普及指導センターまでお問合せください。

## 1 基本防除

福岡県病害虫防除所は、7月14日付でトビイロウンカの注意報を出しています。秋に坪枯れを引き起こすトビイロウンカの発生は、過去10年で最も多く推移しています。トビイロウンカは、箱施薬剤が施用されたほ場でも、農薬の効果の低下や今後の気象条件等により急激に増殖するため、ほ場の発生状況を確認し、確実に防除を行います。

また、コブノメイガについても、すでに一部のほ場で葉の食害が見られ、多発が予測されるため、注意が必要です。

◎本年は、8月16日から20日頃に防除を行います。

品種	剤型	薬剤	希釈倍数
元気つくし	粉剤	アプロードモンカットスタークルF粉剤DL	3~4kg/10a
ヒノヒカリ	液剤	アプロードモンカットエアー	1000倍
ツクシホマレ		+スタークル顆粒水溶剤	2000倍

液剤を使用する際の散布水量は、10a当たり100リットルです。

※ アプロード剤に対するトビイロウンカの感受性が低下しているため、スタークル剤と混用して使用してください。

※ ウンカ等への効果を高めるため、防除作業はほ場に水をためた状態で行います。

## 2 2回目の防除

本田2回目はウンカ、カメムシを第一に、いもち病も含めて防除の対象としています。

「元気つくし」と「ヒノヒカリ」は補正防除、「ツクシホマレ」は基本防除です。

※出穂してからの畦畔の除草は禁物です(カメムシの本田への飛び込みを助長するため)

品種	防除時期	薬剤(全品種とも粉・液いずれか)	希釈倍数
元気つくし	8月23~25日頃	(粉剤)	4kg/10a
ヒノヒカリ	8月28~31日頃	ブラシントレボン粉剤DL	
ツクシホマレ	9月2日~ 9月5日頃	(液剤) ブラシントレボン水和剤	500倍

液剤を使用する際の散布水量は、10a当たり100リットルです。

**農薬の安全使用と飛散防止対策を徹底しましょう!**